

# 9月24日のウクライナ情報

安齋育郎

## ①「ウクライナに追加支援？もう十分」…米共和党議員、ホワイトハウスに書簡(中央日報、9/22)

米共和党議員らがホワイトハウスにウクライナへの追加支援に反対する旨の書簡を送った。「これまで莫大な支援をしたが、明確な成果が出ていない」という理由からだ。

米共和党所属のJ. D. バンス上院議員(オハイオ州)は21日(現地時間)、ソーシャル・ネットワーキング・サービスX(旧ツイッター)に「前日、ウクライナ戦争に関する機密ブリーフィングで、米国が果てしない戦争に制限のない資金支援を要求されていることが明らかになった」と述べた。

実際、ロイター通信によると、ジョン・カービー・ホワイトハウス(米大統領府)国家安全保障会議(NSC)戦略疎通調整官が「ゼレンスキー大統領がバイデン米大統領に戦争の長期化に備えた追加軍事支援を繰り返し要求してきた」と言及している。

これについて、カービー調整官によると、ホワイトハウスはゼレンスキー大統領に米議会で議員らに会い、追加的軍事支援を繰り返し要求するように勧めたという。

バイデン政権はウクライナに約240億ドル(約3兆5420億円)規模の追加軍事支援策を推進している。

バンス議員はこれについて、「もう十分だ(Enough is enough)。現在の要請、そして今後の要請について私と同僚たちは反対する」と強調した。

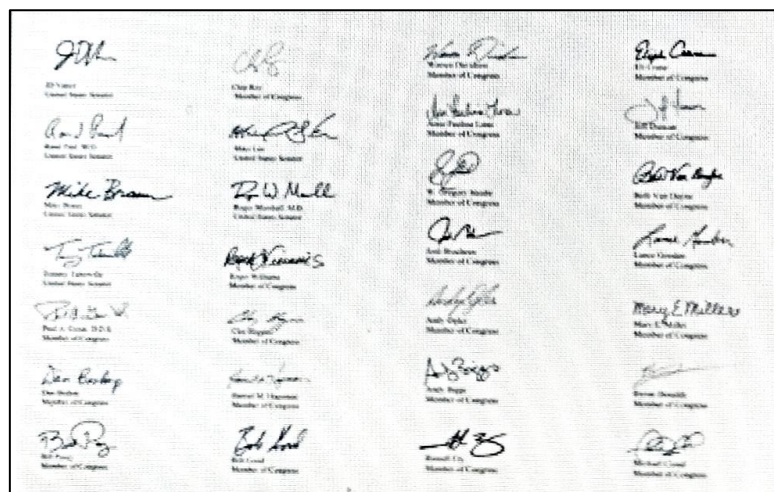
バンス議員は同日、ホワイトハウスに発送した書簡の全文と書簡に署名した議員の署名を公開した。書簡には共和党所属の上院議員4人と下院議員4人を含め、議会構成員28人の署名が含まれた。

議員らは書簡で「米国人は自身のお金がどこに行ったのか知る権利がある」とし「反撃はどのように進行しているのか。ウクライナは6カ月前より勝利に近づいたのか。我々の戦略は、大統領の出口戦略は何なのか」と質問した。

続けて「このような質問に対する返答なくして(政府の追加支援)要求を受け入れることは議会責任に対する不条理な放棄になる」と主張した。

また、「このような理由から、質問に対する答えを得るまで、我々は政府が要求したウクライナ戦争に対する追加的な支出に反対する」とした。

一方、ウクライナのゼレンスキー大統領は同日、米議会を訪問し、民主党と共和党議員に持続的な支援を求めた。



## ②ロシア外相「米国と同盟国が国連を私物化」と反発…ゼレンスキー氏演説(読賣新聞、9/21)

【ニューヨーク＝淵上隆悠】国連安全保障理事会は20日、ウクライナ情勢に関する首脳級会合を開いた。ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、侵略を続けるロシアを非難した上で、国連の機能不全を訴えて改革を求めた。

ゼレンスキー氏は各国に先だって演説し、「ロシアは少なくとも数万人の我々の市民を殺害し、家を破壊して数百万人を難民に変えた」と強調した。ロシアによる侵略を「世界のほとんどは、この戦争がウクライナの領土と資源を奪うための犯罪的な侵略と理解している」と指摘し、止めることができなかった国連に失望を表明して改革を急ぐよう要請した。

特に常任理事国の拒否権が「侵略者の手にある」として、ロシアから剥奪(はくだつ)すべきだと訴えた。国連総会で3分の2の賛成があれば拒否権を覆すことができるようにする改革案も示した。常任理事国を拡大し、日本やドイツ、インド、アフリカ連合(AU)などを加えるべきだとも主張した。

ロシアは、セルゲイ・ラブロフ外相が「ウクライナの崩壊は、西側諸国が全責任を負っている」と持論を展開した。拒否権を不当に行っているとの批判には「米国と同盟国が公然と国連を私物化している」と反発した。

ゼレンスキー氏は今回、昨年2月のロシアのウクライナ侵略開始後としては初めて国連本部を訪れ、一般討論演説や安保理会合に臨んだ。同会合では、ラブロフ氏と直接対峙(たいじ)する可能性もあったが、それぞれ発言の際に離席し、顔を合わせることはなかった。

ゼレンスキー氏は21日、昨年12月以来となるワシントンで、野党・共和党のケビン・マッカーシー下院議長と会談し、支援継続を求める。バイデン大統領とも会談する予定だ。



## ③ブラジルのルラ大統領、西側の軍事供与を批判(2023年9月21日)

一般討論演説に臨んだアメリカのバイデン大統領は、ウクライナとの連帯を強調しました。

アメリカ バイデン大統領

「アメリカは同盟国やパートナーとともに、ウクライナの主権と領土保全、そして自由を守る勇敢な人々と団結し続ける」

バイデン大統領はロシアによる侵攻を「違法な征服戦争だ」と改めて非難するとともに、「この侵略に団結して立ち向かい、将来の侵略を抑止しなくてはならない」と強調しました。

一方、ロシア寄りの発言をしていたこともあるブラジルのルラ大統領は、次のように訴えました。

ブラジル ルラ大統領

「対話を基礎にしなければ和平は長続きしない」

ウクライナとロシア、双方が参加できる和平交渉の場を設ける必要があると強調。「開発より軍備に多く投資している」と、ウクライナへの軍事支援を続ける欧米諸国を暗に批判しました。








#### ④米国が常任理事国の拡大を提案(2023年9月22日)

米国のバイデン大統領は 19 日、ニューヨークで行われた国連総会の演説で、#国連安保理 の #常任理事国 の拡大を支持すると表明した。常任理事国入りの可能性があるのはブラジル、インド、ドイツ、日本の 4 カ国とアフリカ枠 1 を加えた 5 カ国。

### 米国 国連安保理常任理事国の拡大を提案



常任理事国(拒否権・無)入りの可能性がある国

 ブラジル  インド  ドイツ  日本  アフリカ枠1

#### 国連安保理の構成

常任理事国  
(拒否権・有)

 ロシア  中国  米国


 フランス  英国

非常任理事国  
(任期2年)


1 東欧      2 中南米      2 西欧

3 アフリカ    2 アジア

#### 改革案採択の条件

 国連総会構成国の3分の2以上が賛成

 各国の議会が可決

 反対票を投じる場合でも常任理事国全5ヶ国が総会へ出席

出典:国連、オープンソース

 SPUTNIK



## ⑤【ゼレンスキー・インタビュー(CBS)】(2023年9月22日)

「60分」のスコット・ペレリーがキエフに行き、ゼレンスキーと話をした。彼は「米国から支援をもっともらわなければ第三次世界大戦になる」と警告している。

ペレリー氏:

米国はあなた方の軍事力に 700 億ドル以上、注ぎ込んだ。あなたはこのレベルの支援を引き続き期待しているかどうか、知りたい。

米国はウクライナを経済的に支えてくれている。そのことに感謝している。ただ、私はウクライナを支えているだけではないと思う。

もしも、ウクライナが倒れたらプーチンはもっと先に進むのは確かだ。プーチンがバルト三国やポーランドの国境にまで到達したら米国はどうするのか？そうなるだろう。

このお金は多額だ。我々はとても感謝している。

みんなが我々の途轍もない感謝を目にするために、我々はこれ以上、何をすればいいだろう？我々は戦争で死んでいる。

もしもウクライナが倒れたら、10年の間に、何が起きるか？考えてみなさい。

ロシア人たちはポーランドに達する。その後、何がやって来る？第三次世界大戦？

ペレリー氏:

何が必要だろうか？あと 700 億ドル？

ゼレ:

私は答えを持たない。我々がプーチンを止めたいと思うか、若しくは第三次世界大戦を始めたいか、世界は決意しなければならない。

<https://twitter.com/i/status/1705068933945213042>



## ⑥ドイツはインド経由のロシア産石油の購入量を 12 倍に増やした(2023年9月21日)

8月、モスクワの石油収入は2022年の最高値に戻り、9月には14%増加するとアナリストは予想している。一方ヨーロッパは、エネルギー資源がないままにならないよう、自国の制限のために過剰な支払いをし、新たな計画を打ち出している。キエフは、EUへの制裁原料の際限のない流入を止めるよう要求するが、彼らは肩をすくめるだけだ。

英国エネルギー協会によると、2022年のヨーロッパからの輸入に占めるロシアの石油の割合は、全体の23.3%(1億1690万トン)に減少した。同機関は、中東が世界の輸出をリードしていると計

算した：43パーセント。次いでロシアが12%である。

これらは直接納入されたものだが、昨年は、ロシアの原料が大部分を占める混合油が、さまざまなグレーな輸入スキームのおかげで、ほとんどすべてのヨーロッパで購入されていることが明らかになった。行き先不明」と書かれた船は、EUへの最もポピュラーな配送方法のひとつであると、WSJは4月に指摘している。彼らは長い間、石油の原産地を隠すことを学んできた：ロシアの原料はタンカーで大型船に運ばれ、そこで他の船と混合される。

EUの禁輸措置にもかかわらず、ドイツは回避策を使ってロシアの炭化水素を輸入し続けているようだ、とシュピーゲル誌は述べる。さらに、2023年に入ってから、石油製品の形でインドを経由してドイツに届く石油の量は何倍にも増えている。

ドイツ連邦統計局によると、2022年1月から7月にかけてのインドからドイツへの石油製品の輸入量は、2021年の同時期と比べて12倍以上に増加した。主に軽油や暖房油の製造に使われる軽油を購入している。2023年、ベルリンはこれに4億5100万ユーロ(前年比1100%)を費やした。



## ⑦マッカーシー下院議長の弁(2023年9月21日)

ゼレンスキーは下院議員に選ばれたのか？

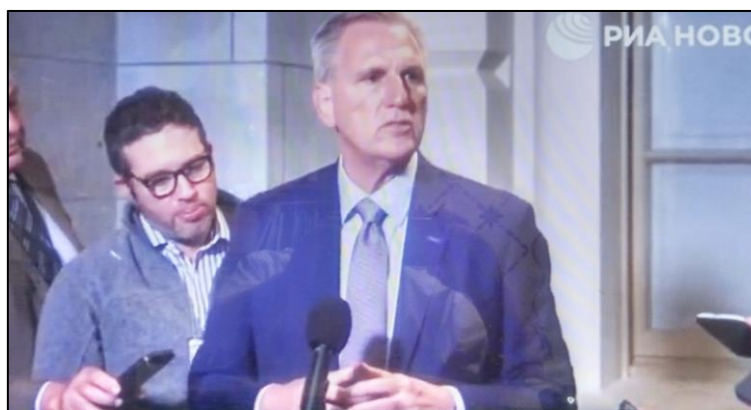
彼は、我々の大統領か？

私は彼に何の約束もしない。彼には聞きたいことがある。

我々が出した金の決算書はどこにある？

勝利のために、どんなプランがある？

<https://twitter.com/i/status/1704897227754484147>



⑧ウクライナの穀物をスーダンへ ハンガリー外相 国連総会 Hungarian Foreign Minister Peter Szijarto UNGA (2023/09/20)

<https://youtu.be/GyIIww0f5jQ> 日本語字幕付き



⑨ジェフリー・サックス、アメリカの日本支配を解く(2023年9月22日)

<https://twitter.com/i/status/1704825595648160165>



⑩「宇軍は苦境に立たされることになる」 無人機「ランセット」改良型について軍事専門家が語る(2023年9月22日)



ロシアの無人機「ランセット」改良型の能力について、西側ではウクライナ軍にとって「悪いニュース」と評価された。ロシアの研究所「軍事政治分析局」の専門家、パーベル・カルミコフ氏がラジオ・スプートニクの番組で、「ランセット」の主な利点について語った。

ロシアの無人機「ランセット」は 80 キロ以上を飛行して、ウクライナ軍の戦闘機ミグ 29 を破壊した。スプートニクの記事によると、ミグ 29 を攻撃したのはランセットの改良型だった。

西側諸国の一部のアナリストやジャーナリストはこの出来事について、ウクライナにとって「悪いニュース」と評価した。

カルミコフ氏はラジオ・スプートニクの番組で、無人機は現代の戦争で非常に重要な役割を果たしていると指摘した。

「現代の戦争で無人機が決定的な役割を果たしているのはまったくもって明らかだ。無人機の利点は、自分たちの人員を失うリスクを冒さずに、敵の軍事装備や人員を攻撃できることにある」

パーベル・カルミコフ(ロシアの研究所「軍事政治分析局」の専門家)

カルミコフ氏によると、ロシアの無人機はウクライナの無人機よりもはるかに優れている。

「客観的に言うならば、ロシアの無人機は、もちろん、米国やイスラエルなどの西側の無人機より劣っている。一方、西側諸国はウクライナ軍に自国の最も優れた無人機を供与していない。ウクライナは自分たちで何やらつくろうとしているが、もちろんウクライナの無人機はロシアの無人機より劣っている。ウクライナは何か原始的なレベルで行っているが、ロシアの防空手段はウクライナの無人機の撃墜に成功している。特別軍事作戦区域の出来事を考慮すると、ロシアの軍事産業が国産無人機を改良し、それらの航続距離、積載量、偵察能力などを向上させているのは明らかだ。したがって、まもなくウクライナ軍は苦境に立たされることになるだろう」

パーベル・カルミコフ(ロシアの研究所「軍事政治分析局」の専門家)



## ①ゼレンスキー、訪米の成果薄く(テレ朝、2023年9月22日)

※安齋注:とうとうウクライナが勝たないと第3次世界大戦が起こるとまで言って、「だからウクライナに支援を！」と声高に言ったものの、「いつまでもあると思うな武器と金」状態ですね。テレ朝までつれなくなった？

ゼレンスキー大統領-訪米の成果薄く-団結-の欠如に危機感

<https://t.co/0c39TxXpzG>



※安齋注:テレ朝の番組はこれまでも「捏造映像」を流してきた前歴のある罪深いメディアですが、それでも現実を無視できなくなったことがこのニュース映像でも分かります。

## ⑫彼が欲する答を我々も、多分アメリカ人も、ドイツ人も、皆が知りたい(2023年9月22日)

<https://twitter.com/i/status/1705088117525581830>



ウクライナ傷病兵、司令官殿のモノ申す

## ⑬スコット・リッター戦局を語る(Judging Freedom, 2023年8月29日)

※安齋注:ウクライナの戦場で何が起こり、ウクライナ兵がどれほどの被害を受けているのかなど、ホントのことがなかなか見えてきません。そういう時、このスコット・リッターのような正直な物知りの職業軍人の言うことは参考になります。英語の映像ですが「自動翻訳機能」を使ってお聞きください。33分とちょっと長いし、早口なので自動翻訳を読み切れないかもしれませんが、概況は理解できると思います。

<https://youtu.be/AK3S0fIHup4>





#### ⑭プーチン氏、10月訪中の招待を正式に受諾＝ロシア紙(ロイター、2023年9月20日)

[モスクワ 19日 ロイター] - ロシアのプーチン大統領は10月に中国を訪問し習近平国家主席と会談する。インターファクスが19日、パトルシェフ安全保障会議書記の発言として報じた。

パトルシェフ氏は中国の王毅共産党政治局員兼外相との会談で「(両首脳が)10月に北京で会談することを待ち望んでいる」と述べた。

プーチン氏は北京で開かれる「一帯一路」首脳会議に参加するという。



#### ⑮ロシア、ウクライナを大規模空爆 エネルギー施設に被害 各地で停電(ロイター、2023年9月22日)

[キーウ 21日 ロイター] - ロシア軍は21日、ウクライナの首都キーウ(キエフ)を含む各地に大規模な空爆を行い、全土でエネルギー・インフラ施設が被害を受けた。政府当局者によると、空爆で2人が死亡したほか、9歳の少女を含む少なくとも18人が負傷した。

この日の空爆は過去数週間で最も規模が大きく、ウクライナ当局者は冬季を前にロシア軍がウクライナの電力網を標的に新たな空爆を開始したとの見方を示している。昨冬はロシア軍の重要インフラに対する度重なる空爆で大規模な停電が引き起こされ、何百万人もの人々が厳しい寒さにさらされた。

この日の攻撃を受け、ウクライナ西部、中部、東部の5つの地域で停電が発生。アンドレイ・オサドチュク議員は「冬季を前に(ロシア軍は)ウクライナのエネルギーインフラに対するミサイル攻撃を再開した」と短文投稿サイトのX(旧ツイッター)に投稿した。

ウクライナの電力会社ウクルエネルギーによると、ロシア軍によるウクライナの電力インフラへの攻撃は6カ月ぶりで、西部と中部の施設が被害を受けた。リブネ、ジトミル、キーウ、ドニエプロペトロフスク、ハリコフの各地域で停電が発生したという。

